

「琉球新報（新聞）記事」のご紹介

校長 中村 成希

八洲学園大学国際高等学校（芸能スポーツクラス）に在学中から、サップ競技で日本代表選手として活躍していた卒業生の「田口 頼（たぐち らい）」君の活躍が、琉球新報（新聞）に載っておりましたのでご紹介します。【琉球新報社提供：令和5年5月18日朝刊記事】

田口2種目1位、総合V

SUP・アジア王者

SUP（スタンドアップパドルボード）の第1回アジアチャンピオンシップ選

た。エリートクラスに出場した田口頼19歳（19歳）は、本大会でアジア王者に輝いた。1面に関連

スタンス6位、総合4位に入った。キッズクラス女子の山中香乃（かの）10歳（小学5年）はスプリント（300m）1位、デイス

韓国の公共放送で生中継され、大会後に街で声を掛けられてびっくりしたが、うれしかった。韓国でサップが盛り上がっているのを実感した」と昨年の釜山に続いて2度目となる韓国のレースで、さらなる自信と手応えをつかんだ。

力強いこぎで独走

ハイライト

田口頼が初代アジアチャンピオンに輝いた。300mのスプリントでスタートダッシュに成功すると、低姿勢からの力強いこぎを

出して集団を引っ張った。「ロングが得意で世界チャンピオン経験もある選手が後ろについていたが、3m地点から引き離すことができた」と最後は逃げ切った。

絶対のコンディションで、「ハイペースで結構いいタイムが出せた」と思惑通りの展開に持ち込んだ。AP世界ツアー開幕戦の成績は振るわなかったが、その分のエネルギーをソウルのレースにぶつけた。大会は

今週末にISA（国際サーフィン連盟）主催の日本代表選考レースが静岡で開催される。世界大会に出場する代表枠を懸けてスプリント、デイスタンス、テクニカルの3種目に出場する。「もちろん狙うは優勝」と静かに闘志を燃やした。

（大城三太）



①トップでゴールし、笑顔で両手を広げる田口頼②総合優勝した田口頼（左）と総合4位に輝いた吉田章平（提供）